

春の餃子会(2009.05.10)

5/10の中国駐大阪総領事館での懇親餃子会は、鄭祥林総領事や張欣副総領事はじめ館員20名のご出席を賜り総勢80名で開催されました。総領事館料理長が餃子の具材を事前に調理してくださり、また当日秘伝の餃子レシピを公開して頂くなど総領事館の温かいご配慮に参加者一同感激する。

また、挨拶の冒頭で鄭祥林駐大阪総領事から、新中国成立以来の日中関係の中で当会が数十年来一貫して友好交流を推進するために大いに貢献したことを高く評価して頂いた。本年は中国建国60年にあたり、総領事は「たゆまぬ模索と実践を経て中国の特色のある社会主義の道を選んで世界を驚かす成果を収めたがまだ発展途上国である。世界的な経済危機の中で中国政府は成長維持、民生維持、安定維持を目指し内需拡大を柱に一連の政策を遂行する。それは隣国である日本も中国の発展がもたらす歴史的チャンスと共有できる。中日の戦略的互惠関係の全面的推進という共通の目標の下相互交流を一層強化し世界平和と発展に貢献すべき」と述べられました。

懇親会では手作り餃子(形は歪でも味は抜群)・北京料理に舌鼓を打ちながら交流写真の撮影や館員との歓談など友好交流の輪が広まり今後とも日中友好交流・協力事業のより一層の発展に向けた努力する事を確認する。餃子会は終始友好の雰囲気にも包まれながら開催したこと報告いたします。





